

2018年11月13日

ロサンゼルス・モーターショー2018におけるBMWの出展について

- 米国・カリフォルニア州で開催されるインターナショナル・モーターショーで、
BMW X7、BMW 8シリーズ カブリオレ、BMW M340i xDrive セダン、
BMW Vision iNEXT が世界初公開

ミュンヘン/ロサンゼルス発：

ロサンゼルス・モーターショー2018においてBMWは、新たに導入する3種類の量産モデル、およびさまざまな面で先駆的なビジョンを示すビジョン・ビークルを、いずれも世界初公開する。BMW X7 および BMW 8シリーズ カブリオレにとっては、米国・カリフォルニア州で開催されるインターナショナル・モーターショーが初舞台となる。これら2つのモデルの導入により、ミュンヘンを本拠地とするプレミアム・カー・メーカーは、現在行われているモデル攻勢をラグジュアリー・セグメントへも推し進める。同時に世界初公開となるモデルには、BMW M340i xDrive セダン(複合モード燃費:7.5リッター／100km、複合モード CO₂ 排出量: 172g/km*)が含まれる。加えて、BMWは会場となるロサンゼルス・コンベンション・センターでパーソナル・モビリティの将来の形を垣間見せる。今回初めて公開されるBMW Vision iNext(ビジョン・アイネクスト)は、2018年11月30日～12月9日までの期間中、電気で駆動し、ネットワークに接続され、高度に自動化された走行のすべてを魅力的な一台のモデルとして紹介する。

BMW Vision iNextは、駆けぬける歓びの新時代の幕開けを象徴している。このモデルは、戦略的かつ革新的な分野である自動走行、コネクティビティ、電動化、および各種サービスを初めて1台の自動車に組み込み、さらに将来を見据えたデザイン(D+ACES)を与えたものだ。BMWグループのNumber ONE > NEXT 戦略の一環として定義されている、同グループの持続可能な成長を確実にするための活動の分野には、ラグジュアリー・セグメントでのプレゼンス強化も含まれる。ラグジュアリー・セグメントにおける今後のモデル攻勢は、ロサンゼルス・モーターショー2018に初めて展示されるBMW X7 および BMW 8シリーズ カブリオレを見ても明らかである。さらにロサンゼルス・ショーでは、BMWのその他のニュー・モデルとして、新型BMW X5、新型BMW 8シリーズ クーペ、新型BMW Z4も展示される。

駆けぬける歓びの将来を見据えて：BMW Vision iNext

BMW Vision iNEXTは近い将来の自律走行の可能性を示し、とりわけ推進力としての刺激的な性質を備えながらもその中心に人間を据えるソリューションを提示する。BMW Vision iNextをベースにした量産モデルは、早ければ2021年には新しいテクノロジー・フラッグシップとしてBMWディングルフィン工場で生産が開始される。

BMWの最新のスポーツ・アクティビティ・ビークル(SAV)のサイズとプロポーションを受け継ぐBMW Vision iNEXTの堂々とした風貌、明確にデザインされたフォルムとサーフェスから

は、未来志向のキャラクターが伝わる。フロント・エンドの中央には、大きな BMW キドニー・グリルが配される。エンジンを冷却する必要がないためキドニー・グリルはクローズド構造で、各種センサーを装備したインテリジェンス・パネルとなっている。細くフラットなヘッドライトは、BMW 特有の 4 眼フェイスを現代的な解釈で表現している。BMW Vision iNEXT のサイド・ビューからは BMW の最新 SAV の力強く搖るぎないたたずまいが窺え、機能的な 2 ポックス・プロポーションとロング・ルーフ・ラインがゆとりあるインテリアを暗示し、ロング・ホイールベース、ショート・オーバーハングのシルエットが、ダイナミックな印象をもたらす。左右の大型ドアは観音開き式で B ピラーがないため乗り降りも快適に行え、そのインテリアは洗練された、居心地の良い、いわば 4 つの車輪が付いた『リビング・ルーム』である。室内で特徴的なのは、ドライバー・エリアと後席エリアがひときわ明確に区別されている点である。後席のゆったりとしたひと続きのシートは、まるでリラックスするのにうってつけのラウンジのようである。デジタル・ディスプレイ、フラットなダッシュボード、ステアリング・ホイールで構成されたコクピットは、選択した走行モードに応じて独自のキャラクターに切り替わる。「ブースト(Boost)」モードでは、ステアリング・ホイールとディスプレイは明確にドライバーに向けて配置される。「イージー(Ease)」モードにすると、ドライバー・エリアが変化する。ステアリング・ホイールが少し引き込まれ、アクセル・ペダルが収納され、オープンな雰囲気の空間が作り出される。BMW Vision iNext は、「自分で運転する必要のないクルマとはどのようなものか - 本当に実現できるのか？」という問い合わせに対する回答である。その他すべてのディスプレイおよび操作部に採用した革新的テクノロジーも、ドライバーとパッセンジャーのニーズに応えるものである。後席エリアの上質なリビング・ルームのような雰囲気を醸し出すため、見えないところにテクノロジーが盛り込まれている。それは、ドライバーやパッセンジャーが希望するときのみ姿を現し、利用可能となる。

新次元のラグジュアリー:BMW X7

新型 BMW X7 は、ミュンヘンを本拠とするプレミアム・カー・メーカーの現在のモデル・プログラムにおいて、高級車に相応しい駆けぬける歓びの新次元を開くモデルとなる。この最新かつ最大の BMW X モデルは、風格、機能性、室内の快適性に加え、スポーツ・アクティビティ・ビークル(SAV)の俊敏かつ卓越した走行特性のいずれもが極めて高いレベルで組み合わされている。BMW X7 のエクステリアには、BMW の新しいデザイン手法によって、ラグジュアリー・セグメント特有の現代的なエレガンスと、威厳と自信に満ちた堂々たる風格が備わっている。印象的な広々としたスペースには、コンフォート・シートを 6 座席分装備するか、あるいは最大 3 列までのシートを装備することもでき、高級感あふれるインテリアに上質なデザインと比類ない装備品が提供される。

BMW 初のラグジュアリー SAV セグメントのエンジンは、V8 ガソリン・エンジン(欧州地域は導入せず)、直列 6 気筒ガソリン・エンジンの他、直列 6 気筒ディーゼル・エンジンが 2 種類用意される。すべてのエンジンに、8 速ステップトロニック・トランスミッションおよびインテリジェント四輪駆動システム BMW xDrive が組み合わされる。BMW X7 には 2 アクスル・エア・サスペンションおよび電子制御ダンパー付きアダプティブ・サスペンションが標準装備される。エンジン・バリエーションに応じて、サスペンション・システムのオプションとして M スポーツ・ディ

ファレンシャルおよびオフロード・パッケージか、あるいはアクティブ・アンチロール・スタビライザー付きエグゼクティブ・ドライブ・プロを装備できる。BMW X7は、その最先端の駆動およびサスペンション技術によって、未舗装地帯におけるオフロード性能と舗装路における走行快適性および俊敏なハンドリングを融合させたBMWのスポーツ・アクティビティ・ビークルならではの特徴を併せ持つ。

進歩する高級車でもあるBMW X7には、最新のドライバー・アシスタンント・システムが数多く用意されている。ステアリング＆レーン・コントロール・アシスト、リバース・アシスト付きパークリング・アシストを含むドライビング・アシスト・プロフェッショナルに代表されるドライバー・アシスタンント・システムによって、自動走行の実現へ向けた最新の進歩が示されている。BMW X7には、BMW ライブ・コクピット・プロフェッショナルも標準装備されている。このシステムは、それぞれ 12.3 インチの画面サイズを持つフル・デジタル式メーター・パネルとコントロール・ディスプレイで構成される。これに加えて、新たに BMW オペレーティング・システム 7.0 では、iDrive コントローラー、タッチ・ディスプレイ、ステアリング・ホイールのボタン、ならびに音声入力およびジェスチャー・コントロールも利用可能なマルチ・モード操作を実現している。

ダイナミック、ラグジュアリー、オープン・エアの歓び：BMW 8シリーズ カブリオレ

ロサンゼルスで披露されるラグジュアリー・セグメントで 2 つ目のニュー・モデルも、BMW のラインナップに新たに追加されるモデルである。このモデルの導入により、BMW 特有のスポーティな走りがラグジュアリー・セグメントのオープン・トップ 4 シーターで体験できるようになる。BMW 8シリーズ カブリオレは、心躍らせるダイナミックな走行特性と個性的でエレガントなデザイン、さらに比類ないオプション装備品、駆けぬける歓び、オープン・エア・ドライビングの歓びといった特徴をすべて提供する。

ダイナミックで伸びやかなライン・レイアウトとクラシカルなファブリック製ソフトトップが、BMW 8シリーズ カブリオレの自信に満ちた外観をつくりあげている。車速 50 km/h までなら走行中でも操作できる電動式フル・オートマチック・コンバーチブル・トップは、開けるときも閉めるときもそれぞれ 15 秒で動作が完了する。このソフトトップを閉じたときはスポーティでフラットなライン・レイアウトが強調され、開けたときは 2 ドア・モデルの伸び伸びしたエレガンスが際立つ。インテリアでは、きわめて正確かつ細部までこだわったデザインが、上質な駆けぬける歓びを盛り上げる。特にソフトトップを開けたとき、エクステリアからインテリアへと違和感なくつながる一貫性が明瞭に伝わってくる。ダッシュボードからドア・トリムのショルダー周り、後席のショルダー周り、そしてソフトトップ収納部のカバーまで、4 つのシートに座った乗員の周囲を流れるような動きで包み込む。BMW 8シリーズ カブリオレには、ロールオーバー保護システムおよびウインド・デフレクターが標準装備されており、オプションでフロント・ヘッドレスト内蔵式ネック・ウォーマー、ステアリング・ホイール・ヒーターを含むウインター・コンフォート・パッケージが提供される。

BMW 8シリーズ カブリオレは、市場投入時点で V8 ガソリン・エンジンと直列 6 気筒ディーゼル・エンジンが用意され、それぞれのパワーは 8 速ステップトロニック・トランスマッisionお

およびインテリジェント四輪駆動システム BMW xDrive を通じて路面に伝達される。BMW 8 シリーズ向けに開発され、特にサーキット用にセットアップされたドライブトレイン、サスペンション・システムは、息をのむほどのパフォーマンスと突出したバランスの良さ、優れた走行快適性を提供する。新型 BMW 8 シリーズ カブリオレの快適性と安全性は、最新のドライバー・アシスタント・システムに裏打ちされている。BMW ライブ・コクピット・プロフェッショナル、ステアリング・ホイールの向こう側に組み込まれた 12.3 インチ・サイズのデジタル・メーター・パネル、および 10.25 インチ・サイズのコントロール・ディスプレイの他、BMW ヘッドアップ・ディスプレイが標準装備される。

際立つスポーツ性能：BMW M340i xDrive セダン

同じくロサンゼルス・モーターショー2018 で初公開となる BMW M340i xDrive セダンは、プレミアム・ミドル・クラスにおけるスポーツ性能の新たな基準を打ち立てる。この新型スポーツ・セダンの中で最もダイナミックなモデル・バリエーションには、最高出力 275kW[374 ps]、最大トルク 500Nm を発生する新開発の直列 6 気筒エンジンが搭載される。この優れた出力特性を発揮するエンジンは、M スポーツ・エキゾースト・システムによる独特的のサウンドを轟かせ、8 速ステップトロニック・スポーツ・トランスミッション、M モデル専用サスペンション・システム、後輪駆動を強調したセットアップが施されたインテリジェント四輪駆動システムなどにより突出したスポーツ性能を実現する。BMW M340i xDrive セダンは、停止状態から車速 100km/h までを 4.4 秒で駆けぬける。

BMW M340i xDrive セダンには地上高が 10 ミリ低くなる M スポーツ・サスペンションを標準装備しており、これには革新的なストローク依存型ダンパーも装備される。オプションで電子制御ダンパー付きアダプティブ M サスペンションも用意される。これら 2 つのサスペンション・システムには、バリアブル・スポーツ・ステアリングも組み合わされている。さらに BMW 340i xDrive セダンには、リヤ・ディファレンシャルに一体化された電子制御式無段階可変ロッキング機能付き M スポーツ・ディファレンシャルと、M スポーツ・ブレーキ・システムが装備される。

BMW M340i xDrive セダンの卓越したパフォーマンスは、モデル専用デザインと装備品にも反映されている。特に冷却エア用の大きなエア・インテークのあるフロント・エプロン、メッシュ・デザインの BMW キドニー・グリル、ボディ同色塗装のリヤ・spoイラー、ならびにセリウム・グレー・メタリック仕上げのドア・ミラー・キャップやエア・インテーク・ストラット、BMW キドニー・グリルのサラウンドとバー表面、テール・パイプ・カバー、モデル・バッジによって M モデル特有の外観となっている。

カスタマイズおよび快適性を向上させるためのオプションとして、新型 BMW 3 シリーズ セダンのすべてのモデル・バリエーションにはさまざまな特別装備品が用意される。各種ドライバー・アシスタント・システムの他、インテリジェント・コネクティビティの分野で最新のイノベーションも用意される。オプションの BMW ライブ・コクピット・プロフェッショナルを組み合わせると、BMW インテリジェント・パーソナル・アシスタントが利用できる。将来的には他の BMW モデ

ルでも利用できるようになる予定のこのデジタル・アシスタントは、音声入力で『ヘイ、BMW』と語りかけることで起動して、車両のさまざまな機能や操作に関してドライバーをサポートし、リモート・ソフトウェア・アップグレードを通じてシームレスに実行される定期アップデートにより、絶えず新しい機能や能力が付け加えられる。

* 燃費、CO₂ 排出量、電力消費量、および航続距離の数値は、型式認定時に有効であった欧州規格(EU)2007/715に既定されている測定法に従って測定されている。これらの値はドイツにおける基本装備の車両に対するもので、数値範囲はホイール／タイヤの種類及び装着されたオプション装備品による差異を考慮したものであり、構成プロセス中に変化する場合がある。

数値は、新しいWLTPテスト・サイクルに基づく測定値を比較のためNEDCに換算したものである。これらの車両については、税その他のCO₂排出量が考慮される課金の評価に際して、ここに示した値とは異なる数値が該当することがある(国別法規によって異なる)。

新車に関する公式の燃料消費率、CO₂排出量、電力消費率に関する更に詳細な情報は「新しい乗用車の燃料消費率・CO₂排出量・電力消費率に関するガイドライン」(Leitfaden über Kraftstoffverbrauch, die -Emissionen und den Stromverbrauch neuer Personenkraftwagen)に記載されている。この資料はすべての販売店、DAT (Deutschen Automobil Treuhand GmbH) (所在地: Hellmuth-Hirth-Str.1, 73760 Ostfildern-Scharnhausen, Germany)、<https://www.dat.de/co2/>から無料で入手できる。